

# 要 望 書

平成18年4月25日

川崎市長 阿部孝夫 殿

|   |   |
|---|---|
| 〒210-0834<br>神奈川県川崎市川崎区大島1丁目28-15-103<br>犬猫救済の輪 代表 結 昭子<br>TEL/FAX 044-222-7072<br>携帯 080-5544-4415 | 〒210-0812<br>神奈川県川崎市川崎区東門前3丁目8-29<br>自然と動物を守るボランティアの会 松坂 茂代<br>TEL/FAX 044-299-2414<br>携帯 090-8084-3033 |
| 〒145-0071<br>東京都大田区田園調布4丁目20-1<br>NPO法人 ねこの代理人たち 中村 光子<br>TEL/FAX 03-3721-8851                      | 〒241-0822<br>神奈川県横浜市旭区さちが丘184-11<br>NPO法人横浜アニマルファミリー代表 野中正子<br>TEL/FAX 045-363-5330                     |
| 〒191-0002<br>東京都日野市新町3-34-2<br>動物たちの会 杉本 等<br>TEL 042-583-2908<br>携帯 090-3908-8823                  |   |

川崎において世界的なアメリカンフットボールの大会が開催されますことは名誉なことです。それに、伴い、隣接する富士見公園全体が解体され、コミュニティガーデン、プールを備えた市民広場、子供広場と立派に生まれ変わることを、その表面だけ見れば素晴らしいと言えるでしょう。しかしながら、この大事業の陰に、公園で暮して来た180人のホームレスさんはシェルターに入り、捨てられ細々と生きてきた、残される推定150匹の犬猫は、生存権を失います。食することも生きる場所も失い、富士見地区、大島地区等の民家に溢れ出た命が、近隣に及ばず野良猫による新たな問題発生も危惧しております。この度は、市議会議員の仲介により、私共の申し入れに対応して頂き、ありがとうございます。必要な対策を緊急にとられるよう強く要望します。命に優しい、まちづくりをお願い致します。

1、動物が命あるものであることを認識し、動物愛護法を遵守すること。  
この大プロジェクトには、総工費〇〇億円の予算を計上し、例えば、相撲場の改修費だけでも1500万円が予算化されているそうです。にも、かかわらず、ホームレスさんに飼われている多くの犬猫が存在していることを知りながら、命ある動物をどうするかについては、まったく対策がとられておらず、予算化もされていないのは問題です。「一寸の虫にも五分の魂」人も動物も同じ命。社会的弱者への尊厳を忘れてはいないでしょうか。痛み、苦しみ、悲しみ、孤独、弱者の立場に立って、物言えぬその叫びを聴こうとしてください。動物愛護法に基づき、人道的な方法で緊急に対策をお願いします。

1) 緊急に、不妊手術を実施すること  
私達は、私達が、不妊手術をするので助成金を出してくださいとお願いしているのではありません。私達は、次々に生まれてくる子猫の発生を防ぐ為に、やむをえず緊急処置として一部の猫に不妊手術を施しました。川崎市行政が実行するプロジェクトが引き起こす問題に対して、市は、責任を持って、市が全額負担して緊急に不妊手術を実施してください。このような問題は、今まで、市内何処でもあったことのはずです。その都度、川崎市は、行政として責任ある対策をとらず、人間により悲惨な目にあつた野良猫を見るに見かねて餌を与える人に対して、行政の責任を、すべて市民に押し付けてきたのです。にもかかわらず、自分が捨てた訳でもない野良猫に対し、多額の自費で不妊手術を施す善意の市民に対し、助成金支援の協力さえしない現状(別紙に一例)です。

2) ホームレスさんのシェルター敷地内に犬猫緊急避難シェルターを設置し、里親に出すこと  
食べ物、住みかを失った猫たちは、哀れにも、飢えて力尽きるまで餌を求め、民家に溢れ出すことは必至です。地域では、現在も野良猫をめぐるトラブルが多発し大きな問題になっています。

3) 犬猫緊急避難シェルターを適正に管理すること(ホームレスさんの中にも、管理できる人もいます。)

4) 保護できない猫については、不妊手術を施したうえで、餌やり場所の設置と管理をすること(同様に、ホームレスさんの中にも、管理できる人もいます。)

5) 子供たちには、実践を通して、命の大切さを教えてください  
小学生の子供達が、毎年、何十匹もの子猫を拾い、公園のホームレスさんのところに持って来ます。捨てられた子猫を家に連れて帰れば、親に捨ててきなさいと言われるからです。学校の先生に相談しても、保護や里親探しなど力を貸してもらえないからです。保健所に連れて行けば、殺されることを知っているからです。ホームレスさんに、ここで飼ってくださいとお願いして、学校の帰りに会いに来ている子供達も何人もいます。立派な公園ができて、猫ちゃんたちはどうなったの。何処へ行ったの。子供達は、傷つくでしょう。子供達は、命の大切さを、大人の言葉ではなく、行動から学びます。共生とは程遠い、物言えぬ弱い立場の命を犠牲にしたプレゼントは、素敵なプレゼントとは言えません。子供達の健全な育成にはつながりません。この大プロジェクトが、真の意味で世界に誇れるものとなることを祈ります。

要望書内用に賛同し、この要望書を提出いたします。

|                   |              |        |
|-------------------|--------------|--------|
| 住所(都道府県からご記入ください) | 団体名・個人の場合は氏名 | またはサイン |
|                   |              |        |

要望書送先 〒210-8790 神奈川県川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市長 阿部孝夫殿